令和4年第9回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和4年10月20日（木曜日）			開会	13:22	会議場所	別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	14:06				
委員の出欠	1 番	宮越 正人	出席	5 番	外山 浩司	出席	9 番	今西 和雄	出席
	11 番	瀧川 榮子	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉部次長兼保健センター長		福祉部次長兼福祉課長	
		今野 健一	出席	小湊 昌博	欠席	入倉 伸顕	出席	干場みゆき	出席
		介護支援課長		町民課長		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長	
		高橋 勇樹	出席	皆川 学	出席	渡辺 久利	出席	堀 留美	欠席
		地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長		町民課主幹		保健課主幹	
		九里 富恵	欠席	大道 詳子	欠席	西田 和弘	欠席	齊藤 晴美	出席
		保健課主幹		母子健康センター師長		福祉課主査		福祉課主査	
		畠澤 みどり	欠席	根本 博美	欠席	澤田 憲一	欠席	大森 晴海	欠席
		介護支援課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査	
		岩口 真紀子	欠席	松本 静香	欠席	井川 仁	欠席	奈良 司	欠席
		町民課主査		町民課主査		保健課主査		保健課主査	
		竹本 誠	欠席	木幡 友哉	欠席	阿部 妃江子	欠席	能登 麻奈美	欠席
		保健課主査		母子健康センター主査		老人保健施設主査			
		佐伯 祐司	欠席	成瀬 広子	欠席	中田 幸規	欠席		
	別海 病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課長		病院事務課主幹	
三戸 俊人		出席	小川 信明	出席	石戸谷友絵	出席	大森 圭介	出席	
委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名		
事務局職員	事務局長	干場 富夫				合計	1名		
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

令和4年第9回福祉医療常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9番 今西	13:22 開会
	出席委員5名、委員外1名、会期1日
委員長 9番 今西	挨拶
	【病院所管事務調査】
病院事務長 三戸	挨拶
委員長 9番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1)新型コロナウイルス感染症対策について
病院事務長 三戸	・7月に入り、オミクロン株の中でも感染力が非常に強いとされているBA.5を中心とする感染が全国的に急速的に感染が拡大し、各地で新規陽性者が過去最高を記録した。その後、8月のピーク時には別海町でも200人を超える陽性者が出たということもあったが、9月以降は減少傾向となり、昨日10月19日現在の別海町の陽性者は、33名となっている。
	感染者の減少に伴い、10月1日から北海道の病床フェーズも、3から2に引き下げられさらに10月17日からはフェーズ1に引き下げられた。
	これらの病床フェーズの引き下げに伴い、町立別海病院のコロナ病床についても、10月7日から7床を3床とした。
	また、9月26日から新型コロナ感染者の全数届出というものが変更になっている。
	市町村から北海道への発生届の提出については、4つの要件がある方。
	1つ目は、65歳以上の方、2つ目は、入院を要する方、3つ目は、重症化リスクがあり、かつ、治療を要する方、これは新型コロナ治療薬の投与が必要な方とか、酸素投与が必要な方を指している。
	4つ目が、妊婦の方、このような4類型に限定されることになった。
	しかしながら、現在でもコロナ要請者が一定数発出しているような状況であり、別海病院においては、平日はもちろん土曜日、日曜日等についても発熱外来を継続して行っている。
	やはり、ウイルスは感染力が強いという特徴がある。
	それが家庭内で広がりを見せ、結果として感染者の年齢層も幼児から高齢者まで幅広く広がっている。
	しかしながら、現在においても幸いなことに重症化する患者は少ない状況が見られる。
	別海病院の入院数も、7月以降、別海病院へ6名、中標津とほかの病院の入院者3名ということで、前回説明した時から入院者は、新たには出ていないような状況。
	陽性にかかわらず、無症状の方も非常に多い。
	感染者の大部分の方は自宅療養という形になっている。
	別海町における令和4年になってからの感染者については、1月6日に別海病院で発熱外来を受診された町民の方が検査の結果、陽性と判明して以来、昨日10月19日まで、延べ1,377名。
	これももちろん町外の方も含み、別海病院で検査した方、一部保健所で把握した方、我々が把握した中では1,377名の方が感染者となっている。
	別海町においては、幸いなことに5月以降クラスターには至っていないが、7月と8月の2カ月間で陽性者が爆発的に増えて700人を超えるという状況で、現在でもなお発熱外来を継続して開設しているため、やはり医師、看護師、検査技師等の勤務状況というのは、現在においてもなかなか厳しい状況が続いている。
	さらに、新聞報道もされているが、10月に入り確かに陽性者も一時減少していたが、

令和4年第9回福祉医療常任委員会 要点記録

		<p>今週に入りやや増加の兆しが見られるところ。</p> <p>そもため、引き続き、当院においても、感染者への治療と感染拡大の抑制に努めるとともに、状況的に判断し保健所等関係機関と連携しながら、対応を行っていく。</p>
委員長	9番 今西	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクとかは、コロナもインフルエンザも減ってきたということだが、別海でもそういう感覚なのか。 ・なかなか今後の状況を的確に判断するというのは難しい状況だが、皆さん御存じのとおり、コロナが流行した結果、ここ2年間はインフルエンザがなかなかはやらなかったという現状があった。 国から通知されている部分で、過去2年とは違ってインフルエンザも流行の兆しが世界的に見られるということで、今回に関してはまだ具体的なところは決まってないが、通常通り11月から周知しているとおり、インフルエンザの予防接種は例年通り開始する。 それと、検査方法については、もちろん病院としても効率よく検査を行い、かつ、あまり患者様に待ち時間がないというか、コロナの検査もやって、インフルの検査もやるようなことはできるだけ避けたいなどは考えているところだが、まだ具体的な方法については検討中。 ・最初のデルタ株から始まって、現在オミクロン株ということだが、別海ではBA.1とか5とかデルタとかそういう区分はできているのか。 ・主に検査をしているのが、抗原定量検査がメインになっているので、別海病院においてBA.1とかBA.5という区分をするような検査を行ったことはない。 保健所の方でも、多分検査する場合は、中標津保健所で検体を受けて、それらの判定をするところに、送るような形になっていると思う。 実際、7月、8月と大量に感染者が出たので、そのプラスマイナスだけの判定に追われるのが手いっぱい、正直のところそこまでの検査を別海病院で行う余力もなく、なかなか厳しいのかなというところ。 ・発熱外来を開設中ということで、例えば夜中に検査してほしいという要望等についてはないのか。 ・基本的な考え方としては、例えば発熱でこられる方もいらっしゃいますが、なかなかスタッフも夜中であると実際のところ先生は1人しかいない。 日勤が終わった後は、当直の看護師さんしかいないという状況で、基本的には翌日来ていただくというような対応とっているが、どうしてもコロナだけでなく、入院が必要な状況がある場合は、検査を実施している。 やはり、コロナはもちろんですが、コロナ以外の状況で入院させるような状況でも、仮にその検査なしだと、万が一というか、院内にコロナ患者さんが入り込む可能性があるんで、夜については、ケースバイケースというふうに患者様の状況を判断しての検査実施ということになっている。 申し訳ないが、基本的には夜は発熱外来を行ってはいないという状況で、翌日に待っていただくというのが基本になっている。 ・北海道のレベルが下がってきているということで、病床利用するっていうことが、別海町の場合も0が続いているということで、産婦人科の再開ということは段取りしているのか。 ・分娩の再開については、今の状況では明確にはお答えできるような状況ではないが、前回、7月にもやはりフェーズが1に下がった時にすぐ再開したが、残念ながら7月に入ってから全国的にも増えるということで、かなり7月以降の別海で分娩予定していた妊婦さんにも御迷惑かけたという経緯もある。 そういった経緯もあるので、ちょっと状況の方をよく判断してっていうのが1点と、11月からインフルエンザワクチンの接種が始まる。
委員	1番 宮越	
病院事務長	三戸	
副委員長	5番 外山	
病院事務長	三戸	
副委員長	5番 外山	
病院事務長	三戸	
委員長	9番 今西	
病院事務長	三戸	

令和4年第9回福祉医療常任委員会 要点記録

	<p>どうしても今の体制が内科2人ということで、なかなか通常は内科の方でインフルエンザワクチンを接種していたが、ちょっと産婦人科の先生にもインフルエンザの予防接種については協力をいただくということで、まだちょっと分娩の再開についての日程については、未定という状況になっている。</p>
委員長 9番 今西	・今回の5回目接種の病院としての対応について内容をお聞きしたい。
病院事務長 三戸	・インフルエンザワクチンの接種であるとか、土曜日、日曜日でも発熱外来を開設しているということで、なかなか常勤医師がワクチン接種を行うというのは厳しい状況になっている。
	後ほど、オミクロン株対応ワクチンの接種については、福祉部から報告があるのかなと思うが、今回のワクチン接種時の問診を行う医師については、できる限り、委託により外部から医師を招聘して対応するような予定をしている。
	基本的には、病院が会場になり、医師の方はそういう形で委託で医師を確保しているが、基本的なワクチン接種の状況については変わらないのかなと思うところ。
委員 1番 宮越	・今の説明だが、ワクチン接種が土日限定ということをお願いをするということになるのか。具体的に何名予定しているのか。
病院事務長 三戸	・平日は常勤医師が、土曜日、日曜日の医師は2名体制となる。
議長 西原	・医師は民間ということだが、看護師は、別海病院の看護師さんが全部対応するのか。
病院事務長 三戸	・発熱外来には看護師がつくので、かなり土日に人数がとられるということで、看護師についても外部委託してということも検討したが、なかなか外部からこられる看護師を確保するのが難しく、結果として元職員の方を新たに会計年度でワクチンの協力をお願いするであるとか、病院の方で11月から新たに会計年度職員として日勤を行うんですが、土日についても、ワクチン接種対応してもらえる方を確保したので、それと常勤の看護師、老健や訪問看護ステーションの看護師の協力は継続して、協力していただく形で何とか対応できる人数の目途はつけたところ。
委員長 9番 今西	・他に質疑あるか。
委員 一同	・質疑なし
委員長 9番 今西	病院 13:44 終了 休憩
	13:50 再開
	挨拶
	【福祉部所管事務調査】
福祉部長 今野	挨拶
	議事1 所管事務調査について
	(1)新型コロナウイルス感染症について
保健センター長 入倉	・資料により説明
	・接種状況について（9月30日現在） ※カッコ内は前回報告値との比較
	1回目接種 12,568人 92.8% (+ 9人 + 0.0%)
	2回目接種 12,518人 92.5% (+ 9人 + 0.1%)
	3回目接種 10,625人 78.5% (+ 51人 + 0.4%)
	4回目接種
	65歳以上 3,400人 77.7% (+ 302人 +6.9%)
	60～64歳 649人 62.6% (+ 180人 +17.4%)
	59歳以下 751人 (+ 153人)
	※59歳以下は基礎疾患を有する方・医療従事者等が対象
	※60歳以上の接種率（全国は10/19、道は10/18時点の接種率）
	町 74.8%、道73.6%、全国73.3%
	【小児接種】

令和4年第9回福祉医療常任委員会 要点記録

1回目接種 457人 52.5% (+ 0人 + 0.0%)

2回目接種 442人 50.7% (+ 0人 + 0.2%)

※全国の小児接種の接種率

1回目 12.6%、2回目 21.6%

・4回目に係る接種券の発送状況について（9月20日現在）

60歳以上 4,365通

60歳未満で基礎疾患を有する方等 436通

・オミクロン株対応ワクチン接種について

接種対象者、使用するワクチン、オミクロン株対応2価ワクチンの種類と特徴、接種会場、接種日程及び接種人数、これまでの接種の状況と接種時期については、全員協議会で説明しているので省略するが、1つ訂正をお願いしたい。

使用するワクチンのモデルナ社（BA.1対応型/BA.4-5対応型）と記載しているが、厚生労働省に確認したところ、モデルナ社のBA.4-5対応型については、10月5日に薬事承認の申請をしており、今後、国で承認するかどうかを決定する状況のため、モデルナ社の使用するワクチンはBA.1対応型のみとなっている。

・オミクロン株対応ワクチン接種に係る接種券の発送状況（10月14日）

60歳以上 689通

18～59歳で基礎疾患を有する方、医療従事者等 138通

・オミクロン株対応ワクチン接種に係る予約状況（10月20日現在）

283件

・今後の発送予定

追加接種（3回目）が未接種の方 約1,400通（10月20日発送）

12歳以上で追加接種（4回目）が未接種の方のうち、R3,12～R4,3までに3回目を接種した方 約800通（10月24日発送予定）

接種状況見ながら、また発送をいつするかというのを検討しながら進めていきたいと考えている。

・医師の状況

平日は、町立別海病院医師、土曜日・日曜日は、北海道地域医療振興財団及び民間からの派遣を活用し、医師を確保する。

10月、11月

木曜日、金曜日 別海病院から各1名

土曜日、日曜日 民間から各2名

12月、1月

木曜日、金曜日 別海病院から各1名、民間から各1名、財団から各1名

・5～11歳への追加接種（3回目）について

別海病院を会場に、10月18日から接種を開始している。

接種日については、火曜日と木曜日に実施し、追加接種（2回目）から5カ月以上経過している方を対象としている。

・乳幼児（生後6カ月～4歳）の接種について

本町では、現在、接種体制の準備を進めており、国による法改正後、準備が整い次第、接種券の発送やホームページへの掲載等によりお知らせする。

・接種間隔について

10月19日に開催された薬事食品衛生審議会において、新型コロナワクチンの接種間隔について議論が行われ、オミクロン株対応ワクチン及び従来ワクチンの接種間隔について、3カ月への短縮が認められた。

令和4年第9回福祉医療常任委員会 要点記録

		<p>本日、15時から開催される予防接種ワクチン分科会で、予防接種実施規則上も接種間隔を3カ月に短縮することが承認されれば速やかに適用されることになる。</p> <p>本町においても、接種間隔の短縮を踏まえて、接種券の発送や接種スケジュールなど対応を進めていく。</p>	
委員長	9番 今西	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別海町は、小児接種の数が多いということで説明があったが、ワクチンの効果について国からの追跡調査や報告義務というものはあるのか。 ・報告等については、町の方では特に行っていない。 報告義務は特にないと思う。 ・ワクチンについては2種類があるということだが、どちらを打つかということについては、接種希望者が選択できるのか。 ・国から通知がきている内容としては、有効期限を切ることなく、打てるワクチンから速やかに、どちらでも効果に差はないので、どちらでも構わないので、速やかに接種してくださいということを伝えられており、町としても、それを進めていきたいと考えている。 選択については、システムの中で、BA.1とBA.4-5を選ぶ項目あるので、本人で選択できる状況にはシステム上なっている。 ・以前、ワクチンが少なくて苦労したことがあるが、オミクロン株対応についての供給量についてはどうなっているのか。 ・ワクチンの供給量については、年内に打てる量を順調に供給されるようになっており、町もそれに基づいてワクチンを受け入れていく。 ・供給量については、年内十分確保できる予定だが、接種間隔が3カ月短縮されて接種対象者が増えたとしても対応できるというふうに理解してよろしいか。 ・そのとおり ・他に質疑あるか。 ・質疑なし 	
委員	1番 宮越		
保健センター長	入倉		
副委員長	5番 外山		
保健センター長	入倉		
副委員長	5番 外山		
保健センター長	入倉		
委員長	9番 今西		
保健センター長	入倉		
委員長	9番 今西		
委員	一同		
委員長	9番 今西		
			閉会挨拶
			14:06 閉会